

2009 年 8 月 22 日（土）相模女子大学にて、第 4 回夏休み みんなの一日大学（ナツガク）を以下のとおり開校いたしました。

＜対 象＞ 小学生以上ならどなたでも

＜入場料＞講座運営協力費として 高校生までは100円 大人 500円

＜特別協力＞ 相模女子大学、学びなおし塾 いっぽ塾生

＜後援＞ 町田市教育委員会、相模原・町田大学地域コンソーシアム、神奈川県教育委員会、相模原市、相模原市教育委員会、相模原市立小中学校PTA連絡協議会、相模原市商工会議所

＜協賛企業・協力団体等＞ 旭商会 麻布大学 イーグル技研 ウイツコミュニティ 運動指導士アカデミー 桜美林大学 菊水食品 菊屋浦上商事 北里大学 協和発酵キリン東京リサーチパーク グリーンスタジオ 國學院大學研究開発推進機構 相模経済新聞社 相模原法律事務所 佐々木洋事務所 司法書士井口学事務所 JAXA 宇宙科学研究本部 女子美術大学 湘南デザイン タウンニュース 帝京大学 東京家政学院大学 フクヤマ画廊 法政大学ボランティアセンター 百瀬書店 モランボン 八千代銀行 利恵産業（9大学、20企業）

#### 「学びたい人」(受講者)

##### 参加人数

大人(招待者含む)289 名

子供(高校生以下)407 名

合 計        **696 名**

##### 受講延べ人数

定員あり講座(18 講座)506 名

定員なし講座(14 講座)579 名

ブース講座(5 講座) 545 名

合 計        **1,630 名**

\*幼稚園生から 77 歳の方まで、幅広い年齢層の方が机を並べて共に学びました\*

#### 「教えたい人」(37 講座)

講師・助手        **141 名**

\*幼稚園生から？歳の方まで、幅広い年齢層の方に講座を開いていただきました\*

#### 「それを支える人」

ボランティア・スタッフ 80 名

実行委員等企画推進者 19 名

合 計        **99 名**

\*大勢のボランティア方々の力に支えられて開催することができました\*

## 第 4 回 夏休み みんなの一日大学 収支報告

収入の部		
運営協力費	160,000	
寄付金	440,000	
雑収入	24	預金利息
計	¥600,024	
支出の部		
事務局費	0	
雑給	20,000	告知サ仆
実行委員活動費	70,000	通信費・交通費補助
外注費	30,000	チラシデザイン料
印刷費	162,261	ポスター・チラシ・ほか
通信費	12,880	
旅費交通費	200	
消耗品費	145,126	
会議費	0	
福利厚生費	7,904	
広告宣伝費	31,500	タウンニュース
事務用品費	1,013	
接待交際費	2,100	
賃借料	17,850	トランシーバー
保険料	30,860	
支払手数料	2,205	
計	¥533,899	
収支差額	¥66,125	

## 相模原市経済部働く人支援課・NPO きょういく応援団協働事業

## 平成 21 年度「学びなおし塾 いっぽ」の活動報告

「学びなおし塾 いっぽ」は、相模原市働く人支援課と NPO 法人きょういく応援団の協働事業として、2009 年 6 月に開校し、月・水・金曜日の 9 時から 12 時まで、102 回の授業を実施しました。

## ＜趣旨と事業概要＞

学びなおし塾「いっぽ」では、学力面に絞った学習支援やコミュニケーション能力・社会適応力のトレーニング等を行うことで、自己肯定感・自己効力感を育み、学力や人間関係に不安を抱える若者が社会に出て行くためのお手伝いをします。

この事業は相模原市と NPO 法人きょういく応援団の協働により運営され、市民のボランティア講師やインターンシップ受け入れ企業等にご協力をいただきました。

広報や地域情報紙等を見て、問い合わせが 12 件あり、実際に 8 名面談を行い、当初予定していた生徒数 15 名には至りませんが、7 名でスタートしました。入塾動機の詳細は夫々でしたが、全員働きたいという希望を持っていました。

個別学習が中心ですが、NPO 法人きょういく応援団の講師による特別授業（ドラムサークル・ペン習字・食育など）や、キャリアアッププログラムなどの授業で、働くことへの意識付けやトレーニングを行いました。

7 月には、「夏休み みんなの一日大学」でのボランティア体験（チラシ仕分け作業）、クイズラリーの企画・準備を行う実習を組み入れ、8 月に開催された「夏休み みんなの一日大学」では、クイズラリーの運営以外にも、会場で迷っている人の道案内をするなど、積極的に関わる姿が見られ、たくましく成長しました。

9 月後半から、一人の生徒は IT 関連の会社で就業体験を行いました。履歴書を書いて、受け入れ企業で面接を受け、半月程度働かせていただき、本格的な就職に向けてのウォーミングアップをしたり、ハローワークに通いながら、実際に 10 社以上履歴書を送り、面接を受けるなど就職活動を行いました。

また、二人の生徒は、10 月末から 2 月まで週 2 回（火・木 9 時～5 時半）、マンションの清掃会社に通って、お手伝いをさせていただきました。二人にとっては、仕事の内容はもちろん、多くの大人の方に親切にいろいろなことを教えていただいたことが、内面の大きな成長につながりました。

二人の生徒が「資格試験」〔簿記 3 級〕に挑戦するために勉強を行い、11 月と 2 月の試験を受験しました。合格には至りませんでしたが、一人の生徒は卒塾後、今年 6 月の試験に再度挑戦する予定です。

二人の生徒は、小学校時の不登校が原因で学びなおしをするために、小学校卒業程度の算数、国語の勉強をしました。それぞれ得意不得意があり、生活に必要な基準から単元を選び、一人は小学校 5 年生程度の算数まで終了、一人は中学校の一次方程式まで終了しました。国語は生活に最低限必要な読解力、表現力（作文）を身につけることを目標に取り組みました。文章もはじめは一言、二言で終わってしまっていたのですが時間をかけてじっくり取り組むことで長く書けるように成長しました。今ではもっと学びたい、勉強したいという強い意欲がわいて高校進学を目指しています。

11 月に病気のために、1 名退塾。1 月には「求めている内容と違った」という理由で 1 名退塾し、2 月に 5 名の卒塾生を送り出しました。実際、就職できた生徒はでませんでしたが、各自それぞれが就職にむけていろいろな方向から進むことができました。卒塾した生徒は現在も、いっぽでの経験をもとに就職へむけて活動しているようです。

## 協働事業提案制度事業「まなびなおし塾」収支報告

## 収入の部

円

項 目	金 額	小 科 目	予 算	決 算
受講者負担金	591,000	受講料	1,836,000	537,000
		教材費	135,000	54,000
きょういく応援団負担金	41,502	きょういく応援団負担金	0	41,502
市負担金	3,222,000	市負担金	3,222,000	3,222,000
		収入合計	5,193,000	3,854,502

## 支出の部

項 目	金 額	小 科 目	予 算	決 算	負担金充 当
運営費	3,507,000	人件費（賃金）	3,540,000	3,273,000	○
		事務局管理費	600,000	234,000	
		負担金、補助及び 交付金	263,000	0	○
		予備費	60,000	0	
事業費	347,502	報償費（謝礼） 1	164,000	156,000	
		報償費（謝礼） 2	160,000	60,000	
		消耗品費	282,000	60,502	
		使用料及び賃借料	124,000	71,000	
		支出合計	5,193,000	3,854,502	

収支差額

0

## Nobody's Perfect 「完璧な親なんていない」母親講座

平成 20 年度に実施した NP ファシリテーター養成講座を受講したファシリテーター2名により、「完璧な親なんていない」母親講座を下記のとおり、実施しました。

この講座を終了したことにより、ファシリテーター養成講座受講生5名が NP ファシリテーターの認定を受けることができました。

日時: 2009 年 10 月 1 日～ 2009 年 11 月 5 日 10時～12時 場所:ソレイユさがみ

ファシリテーター:栗林 弘子 堀内 純子 保育スタッフ 9名

受講者数 14 名(累計 81 名) 保育児数 15 名(累計 85 名)

	主なテーマ	内 容
第1回 10月1日	知り合おう 語り合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名札作り (呼ばれたい名前、子どもの名前、性別、月齢)</li> <li>・自己紹介 (氏名、子どもの月齢、性別、参加動機)</li> <li>・NPについて (ルール、駐車場、プログラム、テキストの使い方等)</li> </ul>
第2回 10月9日	私の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフに一日の過ごし方を記入し、ディスカッション→グループの良い点を発表→自分のグラフに工夫できることを書き入れる</li> </ul>
第3回 10月14日	家族との付き合い、 ストレスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族にしてほしいサポートは?してもらうための工夫、家族への対処法について、ディスカッションし発表</li> <li>・体験学習サイクルを知り、解決方法を考える</li> </ul>
第4回 10月19日	しつけについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの月齢が近い人でグループになり、各自のしつけの悩みを体験学習サイクルのシートへ記入し、ディスカッションする→発表</li> </ul>
第5回 10月29日	食事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの食事で困っていることについて、体験学習サイクルを使って解決方法を学ぶ</li> </ul>
第6回 11月5日	まとめとお別れ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換 (幼稚園、保育園、習い事、病院、公園、支援センター、その他聞き合いたいことをグループで)</li> <li>・プログラムの振り返り (講座で学習したことを今後どう活かすのか)</li> </ul>

## 収入の部

費目		金額
助成金交付決定額	ゆめの芽より	341,000
参加費収入		16,690
		357,690

## 支出の部

費目		金額
1 諸謝金	事務局費 雑給 講師活動費 ファシリテーター料 スタッフ人件費	345,050
2 旅費	旅費交通費	0
3 所費	会場費 印刷費 通信費 消耗品費 会議費 事務用品費 新聞図書費 保険料 支払手数料	22,046
支出計		367,096

収支差額		▲9,406
------	--	--------

神奈川県民文化課・NPO きょういく応援団協働事業

平成 21 年度伝統音楽人材指導者養成ワークショップ事業・第一弾

◆◆◆伝統音楽の魅力を体感してもらうための授業作り◆◆◆

## 総合型伝統音楽ワークショップ 「観て、聴いて、体験して……伝える」

伝統音楽の良さをどのように伝え、体験的に学んでもらえるためにはどうしたらいいか……。

地域に住む伝統音楽の実演家と一緒に、日本古来の美しい調べを心と身体で感じ、子どもたちの情操を育むような授業を作るため、ワークショップ型の講座を開きます。

【講 師】 常磐津東蔵（重要無形文化財常磐津節(総合認定)指定保持者）

常磐津連中：常磐津和英太夫 常磐津松希太夫 常磐津東蔵 常磐津文字絵

お囃子連中：望月太意吉 梅屋勝六郎 望月幹 望月美沙輔

あさきゆめみし(相模原市在住の若手プロ邦楽ユニット)

山田流箏曲：設楽聡子 生田流箏曲：坪井智子 琴古流尺八：金子朋沐枝

【内 容】 ・ お話「日本民族の特殊な民俗性により誕生した伝統芸能」（常磐津東蔵）

・ 歌舞伎音楽の鑑賞 常磐津「三社祭」（演奏：常磐津連中・お囃子連中）

・ 箏・尺八音楽の鑑賞(演奏：あさきゆめみし)

・ 和楽器(三味線、太鼓、鼓、鐘、箏、尺八)の説明

・ 指導法の研究を兼ね体験。(グループに分かれ、各楽器の実技を体験しながら、学校現場などでの 指導案、指導方法を考える。)

【対 象】 教員(小・中・高校)、教育系大学の学生、地域の実演家など

【日 時】 平成 21 年 7 月 21 日(火)、22 日(水) 13:30～17:00 受付は 13:00～

【場 所】 相模女子大学中学部文化ホール(相模原市文京 2-1-1、最寄り駅：小田急線相模大野駅)

【定 員】 30 名 【受講料】 全 2 回で 5,000 円(含、資料代)

【共 催】 神奈川県教育委員会 【特別協賛】 相模女子大学 相模女子大学中学部

【後 援】 相模原市教育委員会

---

### <第1日> 参加者27名

講師：常磐津東蔵先生の講話

「日本人の民族性（特殊な感性）から生まれた歌舞伎とその音楽について

歌舞伎音楽「三社祭」の解説と楽器の説明、鑑賞

各楽器の説明と謡とせりふの練習（全員）

三味線、笛、太鼓、小鼓、大鼓、謡とせりふの 5 種類のパートに分かれ交代で体験し、練習した。

### <第2日> 参加者25名

あさきゆめみしの演奏 「春の海」演奏と解説、各楽器の説明

箏（山田流、生田流）、尺八、三味線の 4 種類の楽器を交代で体験し、練習した。

フリータイムでは、演奏者への質問や相談等などの意見交換が行われた。

平成 21 年度伝統音楽人材指導者養成ワークショップ事業・第二弾

## 箏演奏指導者育成のための実技ワークショップ

和楽器に関する知識や演奏技術を習得し、それらを子どもたちへ伝達する方法を学び、かつ日本の伝統音楽の素晴らしさを子どもたちに体感させることができる指導者を育成するワークショップを県と NPO との協働で開催する事業です。

今回のワークショップでは箏を取り上げます。箏曲の歴史と楽器についての説明からはじまり、簡単な練習曲を演奏することができるようになるまで指導します。

- 【講 師】 あさきゆめみし(相模原市在住の若手プロ邦楽ユニット)  
山田流箏曲: 設楽聡子 生田流箏曲: 坪井智子
- 【内 容】 <第1回>箏曲の歴史と楽器についての説明、箏の手法(練習曲を弾きながら)、「さくら」の演奏  
<第2回>いろいろな曲を弾いてみる、合奏の楽しさを体験、模範演奏  
<第3回>「六段調」「春の海」に挑戦、演奏発表
- 【対 象】 教員(小・中・高校)、教育系大学の学生、地域の実演家など県民一般を想定
- 【日 時】 平成 21 年 8 月 6 日(木)、7 日(金)、10 日(月) 9:15~12:15 受付は 9:00~
- 【場 所】 県立湘南高校音楽室(藤沢市鶴沼神明 5-6-10、最寄り駅:小田急線江ノ島線藤沢本町駅)
- 【定 員】 20 名 【受講料】 全 3 回で 3,000 円(テキスト代別途)
- 【共 催】 神奈川県教育委員会 【後 援】 藤沢市教育委員会

---

### <第1日> 参加者24名

箏曲の歴史と楽器についての説明  
箏を弾く準備 爪を選ぶ、箏柱を立てる、調弦  
箏の手法についての説明  
「さくら」を弾いてみよう!

### <第2日> 参加者23名

色々な曲を弾いてみよう! 「さくら」、「数え唄」、「花かげ」、「うさぎ」  
生田流・山田流の紹介 (各流派の説明、演奏)  
全体または各自で各曲を練習した。  
最終日の発表に向けてのグループ分け

### <第3日> 参加者22名

前日までの復習(グループに分かれて合奏練習)  
グループごとに合奏披露(さくら2、数え唄、花かげ、うさぎの5グループ)  
講師による「六段調」演奏および手法の解説と実演、体験  
一人一言(感想などを自由にディスカッション)

## 資料 4 : 平成 21 年度神奈川県協働事業 伝統音楽人材育成ワークショップ収支報告

## &lt;支出の部&gt;

第 1 の講座	予 算	実 績
講師謝礼<総合 W>	20,000	20,000
演奏謝礼<総合の 1 日目>	400,000	400,000
演奏謝礼<総合の 2 日目>	75,000	75,000
講師謝礼<箏 W>	150,000	150,000
ファシリテーター人件費	20,000	20,000
スタッフ人件費	88,000	86,500
楽器運搬費	18,000	28,000
会議費	18,000	29,979
交通費	45,000	37,510
消耗品費(テキスト代含む)	8,000	36,375

管理運営費	予 算	実 績
事務局人件費	420,000	430,000
印刷費	40,000	22,442
事務用消耗品費	10,000	9,740
報告書作成費	40,000	43,000
企画・管理運営費	150,000	50,000
記録用ビデオ撮影	80,000	80,000
保険費用	13,000	12,280
予備費(通信費・HP 作業)	10,000	17,660
支 出 合 計	1,605,000	1,548,486

## &lt;収入の部&gt;

	予 算	実 績
受講料	150,000	135,000
	60,000	72,000
テキスト代		32,760
県負担金	1,395,000	1,395,000
収 入 合 計	1,605,000	1,634,760
収 支 合 計	0	86,274

## 講師派遣およびコーディネーター業務

小学校 2件、中学校 8件、高校 8件、その他2件 合計 20件(75名の講師派遣)の活動を以下のとおり行いました。

## 平成21年

- 4月16日(木) 大野北地区社会福祉協議会思い愛ネットワーク13班  
「裁判員制度について」の勉強会 1名
- 5月～9月 大野北中学校 総合的な学習の時間 1名
- 7月21～23日 大野北小学校 北極星カルチャー 1名
- 8月19, 20日 神奈川県立相模原総合高校 模擬面接 4名
- 10月5日(月) 神奈川県立大和西高校 キャリア教育講演会(2年生) 1名
- 10月21日(水) 大和市立小学校図書館部会勉強会「読書へのアニメーション」 1名
- 10月24日(土) 相模原市立富士見小学校PTA ワイワイ祭り(インフルエンザにより中止)
- 10月30日(金) 東京都町田市立鶴川中学校2年生 マナー講座 5名
- 11月10日(火) 相模原市立青野原小中学校 落語鑑賞会 1名
- 11月20日(金) 相模原市立若草中学校 職業人講座 4名  
相模原市立鶴野森中学校1年生 マナー講座 6名
- 11月26日(木) 神奈川県立綾瀬西高校1年生 社会人講話 5名
- 11月30、31、12月8日 川崎市立南菅中学校3年生 三味線講座 1名
- 12月7日(月) 神奈川県立大和西高校 キャリア教育講演会(1年生) 1名
- 12月11日(金) 町田市立鶴川中学校3年生 模擬面接 5名
- 12月14日(月) 神奈川県立城山高校3年生 社会人講話 8名
- 12月16日(水) 相模原市立東林中学校1年生 マナー講座 4名

## 平成22年

- 1月18日(月) 神奈川県立相模田名高校 社会人講話 7名
- 2月15日(月) 神奈川県立相模原高校 社会人の先輩に聴く 7名
- 3月18日(木) 神奈川県立上鶴間高校 社会人講話 16名

コーディネート活動収支	収入	415,500 円	支出	196,522 円	差額	218,978 円
-------------	----	-----------	----	-----------	----	-----------

## 平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

平成21年 4月 1日 から 平成22年 3月 31日まで

第6期

特定非営利活動法人 きょういく応援団

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1.会費収入		
正会員入会金	20,000	
正会員年会費	91,200	
賛助会員年会費	60,000	
団体賛助会員年会費	10,000	
		181,200
2.事業収入		
教育活動協力事業収入	414,500	
研修・学習事業収入	5,420,419	
市民向け講座事業収入	174,000	
実費収入(NP保険料)	3,690	
教材プログラム収入	132,000	
		6,144,609
3.補助金等収入		
市民ファンドゆめの芽助成金(NP)	341,000	
独)福祉医療機構返還金	-88,705	
		252,295
4.寄付金収入		
一般寄付金	172,000	
企業協賛金	430,000	
		602,000
5.その他収入		
雑収入(会議謝金)	6,000	
利息収入	695	
		6,695
当期収入合計		7,186,799
収入合計		7,186,799
II 支出の部		
1.事業費		
(1)イベント企画関係事業費(一日大学)		
雑給	90,000	
外注費	30,000	
印刷費	162,261	
通信費	12,880	
旅費交通費	200	
備品消耗品費	145,126	
福利厚生費	7,904	
広告宣伝費	31,500	
事務用品費	1,013	
接待交際費	2,100	
保険料	30,860	
賃借料	17,850	
支払手数料	2,205	
		533,899

(2)広報関係事業費 広告宣伝費(HP運営管理費)	30,000	30,000	
(3)教案作成事業費			
事務局費	664,075		
雑給	154,900		
コーディネーター活動費	50,000		
外注費	70,000		
印刷費	26,322		
通信費	57,724		
旅費交通費	140,023		
備品消耗品費	32,409		
講師活動費	766,400		
会議費	49,431		
事務用品費	7,865		
接待交際費	1,260		
新聞図書費	3,630		
保険料	15,808		
支払手数料	1,155		
ワークショップ指導料	116,000		
会場費	78,565		
スタッフ人件費	2,567,800		
記録撮影費	80,000		
報告書作成費	43,000		
業務委託料	840,000		
教材費	67,652		
搬入搬出費	18,000		
		5,852,019	
(4)学校等教育活動協力事業			
コーディネーター活動費	87,000		
講師活動費	111,000		
会議費	1,522		
		199,522	
2.一般管理費			
租税公課	12,000		
通信費	167,827		
水道光熱費	22,854		
旅費交通費	150		
接待交際費	1,890		
会議費	1,510		
事務用品費	7,731		
備品消耗品費	26,355		
事務職員人件費	167,610		
印刷費	4,339		
地代家賃	240,000		
慶弔費	5,000		
雑損失	34,400		
		691,666	
当期支出合計			7,307,106
当期収支差額			-120,307
前期繰越収支差額			1,287,179
次期繰越収支差額			1,166,872

## 平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成22年 3月 31日現在

第6期

特定非営利活動法人 きょういく応援団

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	73,173	
普通預金 八千代銀行相模大野支店	850,952	
普通預金 八千代銀行いっぽ	35	
普通預金 八千代銀行ナツガク	201,826	
郵便貯金 振替口座	446,800	
未収金	32,400	
正会員年会費(6件)	14,400	
賛助会員年会費(9件)	18,000	
流動資産合計		1,605,186
2 固定資産		
什器備品 パソコン1台(NEC VJ12M/EX-M)	4,000	
固定資産合計		4,000
資産合計		1,609,186
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	4,000	
次年度会費等	4,000	
未払金	364,331	
事業経費未清算	282,960	
一般管理費未清算	81,371	
預り金	73,983	
預り金(預金口座開設金等)	4,200	
源泉徴収税	69,783	
流動負債合計		442,314
2 固定負債		0
固定負債合計		0
負債合計		442,314
正味財産		1,166,872

資料 8

会計監査報告書

特定非営利活動法人きょういく応援団の平成21年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)会計監査の結果報告をいたします。

平成21年度に作成された帳簿、会計諸表と預金通帳等の照合の結果、適正に処理されて正確である事を認めます。

平成22年5月8日

監事

井 12

井 12 (印)

## 事務所所在地の表記の変更について

相模原市の政令指定都市移行に伴い、法人所在地表記を以下のように変更いたします。

### 神奈川県相模原市南区文京2丁目4番地9号

<参考>相模原市HPより \*事務所の所在地の表記について\*  
定款に記載されている事務所の所在地の表記に区名の追加等が必要となる場合は、お手数をおかけしますが、平成22年4月1日以降に開催する総会で定款の変更を議決していただき、定款変更届出書を提出していただきますようお願いいたします。

## 役員改選（案）について

本NPO法人の役員の任期満了に伴い、新役員（候補）として、理事5名、監事2名を選定いたしましたのでご報告申し上げます。（氏名は50音順に記載）

理事（候補） 多田 徹  
日野 孝次朗  
柳瀬 一路  
矢野 英明  
吉澤 洋志

監事（候補） 池邊 民雄  
吉川 和代

※定款第14条2の規定により、理事長及び副理事長は理事の互選により決定します。

## 平成 22 年度 NPO 法人 きょういく応援団 活動計画 (案)

### <方 針>

通常の講師派遣、コーディネート業務に関しては、コーディネーターとして活動する人がいない間は、できる範囲で対応していく。

「夏休み みんなの一日大学」に関しては、実施しない。

講師の PR については、チラシやホームページ等を使って行う。ただし、チラシや HP の原稿作成は、各講師が責任を持って行う。

会員の要望により、事業を行いたい場合は、事業計画をたて、提案者が責任者となり、事業内での収支がマイナスにならないようにすることを前提に、理事会で承認された場合に実施できる。

### <事業名> 学びなおし塾「いっぽ」 塾長 吉澤 洋志

学びなおし塾「いっぽ」では、学力面に絞った学習支援やコミュニケーション能力・社会適応力のトレーニング等を行うことで、自己肯定感・自己効力感を育み、学力や人間関係に不安を抱える若者が社会に出て行くためのお手伝いをします。この事業は相模原市と NPO 法人きょういく応援団により運営され、市民のボランティア講師やインターンシップ受け入れ企業等にご協力をいただきます。

#### 1. 入塾対象者について 以下の要件をすべて満たす方

- 義務教育終了～35 歳未満で、相模原市にお住まいの方
- 本人に学ぶ意欲があり、家庭の協力が得られる方

定員は 15 名とし、定員を超える応募があった場合には選考をさせていただきます。

\* 発達障害等により療育(治療教育)を必要とする方については、専門スタッフを配置していないため対象外とさせていただきます。

#### 2. 実施概要について

期間：前期 平成 22 年 6 月から平成 22 年 10 月まで (50 回)

後期 平成 22 年 11 月から平成 23 年 3 月まで (50 回)

時間：原則として午前 9 時～12 時

場所：矢部駅または橋本駅周辺の公共施設等

費用：1 授業あたり 1,200 円 (5 か月で 60,000 円ー入塾時 36,000 円、3 ヶ月目に 24,000 円の 2 回支払)。授業料のほか教材費(資料、印刷代等)として 1 ヶ月 1000 円、および校外学習のための交通費や特別授業の材料費は各自負担となります。

#### 3. 授業内容について

スタッフと相談をしながら各自の目標と計画を立て、各段階へ進んでいきます。

第 1 ステップ：個別面談 SST モチベーションアップ

第 2 ステップ：目標に対する個別学習 SST

第 3 ステップ：職場体験(インターンシップ) 各自の目標にチャレンジ

基礎学力の定着や各自の目標に向けての学習のほか、特別授業も取り入れます。

<事業名>歌舞伎音楽と三味線こどもおもしろ体験教室 講師および責任者 常磐津東蔵

<目 標>

歌舞伎音楽を鑑賞し、レッスンから三味線は先祖が創った神秘で不思議さを持ったおもしろい楽器であるところを体感してもらう。普段の生活では気付かない自分のからだに内包する民族性も同時に感じ、心豊かな人間形成に役立ててもらえるようにする。

<開催日程> 夏休み期間（7月20日前後～8月末まで）で、全10回実施

カリキュラム	指導内容
音楽鑑賞と 基礎講座 及び基礎体験 (1回)	歌舞伎音楽「常磐津三社祭」の実演鑑賞 お祭り風景の浄瑠璃と境内の掛け小屋から呼びかけるほうづき屋・飴屋・紙細工屋などの売り声のセリフを稽古して江戸情緒を味わう 三味線の説明。弾く、スクウ、ハジクの練習、
練習と応用 (1回)	前回の復習のあと、スクウ、ハジクのテクニックを使い、イメージ表現を試みってもらう 三味線独特の譜面による初歩練習
全体練習 (4回)	前回の復習のあと、スクウ、ハジクのテクニックを使った曲に編曲された、みんなが知っている「さくら」「うさき」などの曲を練習
全体練習 (2回)	江戸情緒たっぷりの「こちやえ節」に挑戦する
全体練習 (1回)	発表会に備え、低・高学年に分かれ練習
鑑賞と発表会 (1回)	1) 初日に行った歌舞伎音楽を再度鑑賞 2) 受講者の成果発表

平成22年度 NPO法人 きょういく応援団 予算案

一般管理費 収支予算

収入の部

	平成21年度予算	平成21年度実績	平成22年度予算案	備 考
会費等	200,000	185,200	120,000	
寄付金	400,000	172,000	30,000	
	160,000		270,000	前年度繰越金より(A)
収 入 計	760,000	357,200	420,000	

支出の部

広報(含ホームページ)	50,000	30,000	50,000	
事務局人件費	180,000	187,610	200,000	
事務用品・消耗品	30,000	37,224	5,000	
通信費	160,000	167,827	40,000	
交通費	40,000	150	5,000	
会議費・交際費	30,000	8,925	10,000	
事務所経費	260,000	262,854	50,000	(光熱費含)
印刷費	10,000	4,339	10,000	
租税公課		12,000		源泉徴収税未納付課税
雑損失		34,400		退会者過年度未納会費
予備費			50,000	
支 出 計	760,000	745,329	420,000	
収 支 合 計			0	

相模原市協働事業 学びなおし塾 いっぱい 収支予算

収入の部

項目	費目	平成21年度予算	平成21年度実績	平成22年度予算案	備考
受講者負担金	受講料	1,836,000	537,200	1,560,000	@1,200円×50日×13名×2回=1,560,000円 ※15名(うち2名授業料免除者あり)
	教材費	135,000	54,000	130,000	@1,000円×5月×13名×2回=130,000円 ※15名(うち2名授業料免除者あり)
きょういく応援団負担金	自己資金		41,467		
相模原市	協働事業負担金	3,222,000	3,222,000	3,222,000	市協働事業負担金
雑収入	預金利息		147		
収入合計		5,193,000	3,854,814	4,912,000	

支出の部

項目	費目	平成21年度予算	平成21年度実績	平成22年度予算案	備考
運営費	人件費(賃金)	3,540,000	3,273,300	3,834,000	・教室リーダー@160,000円×12月×1名=1,920,000円 ・サブリーダー @87,000円×11月×2名=1,914,000円
	事務局管理費	600,000	234,547	600,000	・授業料等の管理、経理、書類管理、関係機関、スタッフ、ボランティア講師、特別講師との連絡調整 ※電話代、通信費、ホームページ運営費を含む @50,000円×12月=600,000円
	予備費	60,000	0	58,000	
	報償費(謝礼)1	164,000	158,913	80,000	・ボランティア講師謝礼(交通費実費程度) @800円×100日=80,000円
事業費	報償費(謝礼)2	160,000	60,000	80,000	・特別講座講師(講演、実技指導、体験等) @4,000円×20日=80,000円
	消耗品費	282,000	56,364	180,000	・教材費 @1,000円×5月×15名×2回=150,000円 ・その他消耗品(図書、参考書等) 30,000円
	使用料及び賃借料	124,000	71,690	80,000	・公的施設等会場使用料 @1,000円×80回=80,000円
	支出合計	4,930,000	3,854,814	4,912,000	
収支合計		0	0	0	

伝統文化こども教室 歌舞伎音楽と三味線こどもおもしろ体験教室

収入の部

収入合計	伝統文化こども教室助成金より	866,300
------	----------------	---------

支出の部

科	科目	平成21年度予算	平成21年度実績	平成22年度予算案	
事業費	講師および演奏者諸謝金		平成21年度実績	講師1 謝金 25,000×10回	
				講師2 謝金 25,000×1回	
	借料		平成22年度 新規事業	平成21年度実績	指導助手謝金 12,000×10回
					演奏料 20,000×3名×1回
					事務協力者謝金 7,000g×2名×10回
					三味線レンタル料 500円×20本×10回
	教材・用具費 旅費(講師等)		平成22年度 新規事業	平成21年度実績	舞台装置 絛耗織 3,000円×3枚×2回
					会場費 音楽室 1,800×8回
					会場費 ホール 7,000円×2回
	その他		平成22年度 新規事業	平成21年度実績	施設器機使用料円 3,000×2回
三味線糸20組×600円					
発表会・大会経費		平成22年度 新規事業	平成21年度実績	消耗品費	
				印刷製本費	
				通信運搬費	
支出合計				866,300	

収支合計	0
------	---